

# 佐世保自衛隊後援会だより

(発行) 佐世保自衛隊後援会  
 会長 金子卓也  
 佐世保市湊町6番10号  
 (佐世保商工会議所内)  
 TEL (0956) 22-6121

佐世保自衛隊後援会



ホームページ

## 新年のご挨拶

佐世保自衛隊後援会 会長 金子卓也



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国民生活や企業活動は大きく制限され、過去経験したことがない極めて厳しい状況にあります。特に昨年後半からの感染拡大の状況下、対応に当たられている医療従事者の方々はもとより、市中感染拡大防止のため35都道府県において医療支援を中心に災害派遣を実施されました自衛隊員

の皆様にご心より感謝と敬意を表します。

さて、昨今の国際情勢は北朝鮮の短距離弾道ミサイル発射、中国の潜水艦による接続水域内航行や尖閣諸島近傍における軍用機活動、また、ロシア軍による北方領土内での軍事演習等、我が国の安全保障を脅かす要因は日々深刻化しております。さらに自然災害を中心に九州各地を未曾有の豪雨が襲い、甚大なる被害をもたらすなど、災害大国と呼ばれるほどさまざまな災害に見舞われており脅威は増すばかりです。

このような中で、自衛隊の皆様は周辺海域の警戒監視や海外任務はもとより、大規模自然災害等にも迅速に対応し、被災者の救助や被災地の復旧活動においても大いに活躍頂いており、改めて自衛隊の存在の大きさを実感した

ところであります。こうした国内外での活動により、自衛隊に対する国民の信頼と期待は一段と高まっており、自衛隊を支援する当後援会の活動もますます重要性が増す中、今後とも隊員の皆様が円滑に任務遂行できますよう全力を尽くし、支援していく所存でございます。

さらに、基地の街 佐世保において自衛隊との共存は重要な柱であると考え、本会の重要な使命であります市民への自衛隊、自衛隊員の活動への理解を深めていただく取組はもちろんのこと、今後引き続き自衛隊の取引支援事業をはじめ、自衛官募集事業、退職自衛官の再就職支援事業をすすめていくことで、引いては地域発展のために尽力して参りますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様はじめ、自衛隊員の皆様並びにご家族様の今後益々のご健勝を祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

令和三年元旦

### 第3期部隊集合教育「レンジャー」帰還式について

陸上自衛隊相浦駐屯地において12月7日(月)、第3期部隊集合教育「レンジャー」帰還式が実施された。

レンジャーとは、有事の際、主力部隊とは別に行動する少数精鋭のチームで敵陣深く侵入し重要攻撃目標を奪取又は排除する事を目的とし、強靱な肉体と不撓不屈の絶対諦めない強い闘志が求められる。陸上自衛隊の隊員の中でも特に能力が高いものとされている。

今回の第3期部隊集合教育「レンジャー」には水陸機動団の各部隊から素養試験を合格した隊員が本教育に臨んだ。

9月28日(月)から約三か月間、当初は徹底的に基礎的な体力づくりを行い、さまざまな武器の取り扱いなどの知識・技能を習得する等各種訓練を通じて頭と体に叩き込んだ。

その後は県内及び九州各地の演習場や山地などでの実践的な行動訓練、約50キロの重い荷物を背負いながら飲食や睡眠を制限し、生存自活等で命を繋ぐ過酷な連続状況下での最終想定訓練に励んだ。

最終想定を終え駐屯地にへり降り立った28名の隊員達は先輩隊員が準備した爆竹が鳴り響く中、多くの家族や関係者らが出迎える

中を最後まで力強く歩き帰還した。帰還式では訓練担任部隊長の第2水陸機動連隊長(武者利勝1等陸佐)の訓示とともに、参加隊員はレンジャーの証しである徽章を授与された。

隊員皆、気力体力の限界をむかえながらも、大きな達成感と共に、より逞しくなった姿に感動した。この隊員達が最前線で私たち国民を守ってくれているということ誇らしく思い、基地のある街の市民として、自衛隊のことや彼らの頑張りをもっと広めていかなければならないと感じた。



# 新年のご挨拶

佐世保地方総監 海将 出口 佳努



新年明けましておめでとうございます。  
佐世保自衛隊後援会の皆さまにおかれましては、令和3年の新春を穏やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。また、旧年中に海上自衛隊佐世保地方隊が賜りました温かいご支援、ご協力に対し厚く御礼申し上げます。

昨年、未だ収束を見ない新型コロナウイルスの感染拡大により、世界規模で多くの方が犠牲となられました。まずは皆さまと共に、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、今も感染に苦しんでいる方々に心よりお見舞いを申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、様々な課題や不安定要因が従来にも増して顕在化・先鋭化し、純然たる平時でも有事でもない、いわゆる「グレーゾーン」の事態が長期にわたり継続する傾向にあります。特に、我が国周辺においては、質量に優れた軍事力を有する国家が集中し、軍事力の更なる強化や活動の活発化の傾向が顕著となっており、既存の国際秩序とは相容れない独自の主張に基づく力による現状変更の試みを強行に推し進める国家も存在します。

このような状況下、海上自衛隊は、我が国の領域及び周辺海域の防衛、海上交通の安全確保、及び我が国にとって望ましい安全保障環境の創出のために、日々諸活動を、「平素からの闘い」と位置付けて任務にまい進しております。防衛交流、能力構築支援等の活動により常に安全保障環境を改善して脅威の顕在化を防ぐ「環境の形成」、そして日々の警戒監視、各

種共同訓練等の活動を通じて事態の発生とその悪化を防ぐ「平素からの対応」等がその闘いです。そして、我が国の平和と安全が脅かされる場合には、脅威を取り除く「有事への対応」を行います。

佐世保地方隊は、この「平素からの闘い」の最前線を警備区として担任する部隊であり、新たな年も、各隊員はそれぞれの職務に「誇り」を持って「精強・即応」の態勢を堅持するとともに、継続するコロナ禍の中、感染防止のため、いわゆる「3密」を回避しつつ、部内外の部隊や関係機関等との「緊密」な連携を強化し、地域社会や住民の皆様へ貢献できるよう「親密」な関係を維持発展させてまいります。

佐世保自衛隊後援会の皆さまには、本年も倍旧のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年一年が平和で希望に満ちた年となることを祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

海上自衛隊佐世保地方総監部



## ■海上自衛隊佐世保地方総監部異動(10月～1月)

現 職			前 任 者			
職 名	氏 名	役職	前任者	役職	前任者次の配置	補職日
佐世保地方総監部監察官	西村信一郎	2佐	高篠 博之	2佐	第2術科学校研究部長	2020/11
佐世保造修補給所副所長	山中 健司	1佐	齋藤 淳師	1佐	海上幕僚監部経理課経理調整官	2020/10
第2護衛隊司令	工藤 正徳	1佐	北川 敬三	1佐	海上幕僚監部防衛課能力評価・分析室長	2021/01
第8護衛隊司令	竹嶋 広明	1佐	横田 和司	1佐	海上幕僚監部防衛課防衛調整官	2020/12
しまかぜ艦長	萬年 敬	2佐	齋藤 岳彦	2佐	水陸両用戦・機雷戦術支援隊副長	2020/10

## ■自衛官募集のご案内

募集項目	大卒等	高卒等	中卒等	その他	
一般幹部候補生		防衛大学校学生 一般曹候補生 <sup>*1</sup> 自衛官候補生 <sup>*2</sup> など	高等工科 <sup>*3</sup> 学校生徒	予 備 自衛官補	<p><b>*1 一般曹候補生(応募資格:18歳以上 33歳未満)</b> 自衛隊各部隊の中核である曹となる自衛官を養成するコース。</p> <p><b>*2 自衛官候補生(応募資格:18歳以上 33歳未満)</b> 陸は2年、海・空は3年(自衛官候補生の3ヶ月間含む)の任期制隊員コース。</p> <p><b>*3 高等工科学校生徒</b> 高機能化・システム化された装備品を運用する陸上自衛官を育成する学校。</p>

自衛官募集に関する  
問い合わせ先

自衛隊長崎地方協力本部佐世保出張所 TEL(0956)23-1231

# 新年のご挨拶

水陸機動団長兼相浦駐屯地司令

陸将補 平田 隆 則



保・相浦地域との繋がりを大事にして皆様のご期待にお応えできるように職務に邁進してまいりました。また新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、その影響により国内・外における一部の訓練・各種行事も延期され、今までは違っていた状況にあっても、我々は「新しい生活様式」を実践しつつ訓練参加者の体調管理はもちろん、訓練を実施する自治体の状況や施策を確認するとともに、共同する部隊等についても対策の現状を確実に把握する等、感染症対策を万全にして水陸両用戦能力向上のため全隊員が一丸となり訓練してまいりました。

一方、我が国を取り巻く安全保障環境は、新たな年にあっても様々な課題や不安定要素の顕在化・先鋭化に変化はなく、より一層かつ急激に不確実性を増しています。我が国周辺には質・量に優れた軍事力を有する国家が集中し、さらなる強化や軍事活動の活発化の傾向が顕著となっており、尖閣諸島周辺を含む我が国周辺海域における活動を拡大・活発化するとともに、南シナ海においても独自の主張に基づき活動を活発化し、二方的にエスカレートさせる国の存在等が強く懸念されています。他にも領土や主権、経済権益などをめぐるグレイゾーンの事態が国家間の競争の環境として長期にわたり継続していく傾向にあり、今後さらに増加・拡大していく可能性がります。

国内に目を転じれば、各地で豪雨災害、台風の上陸、大規模地震等自然災害が頻発し、自衛隊として最大限の対応が求められる自然災害が何時生起してもおかしくない状況にあります。ほかにも新型コロナウイルスへの対応等、多様な事態に即応し、いかなる状況においても任務を完遂し得る態勢を維持するとともに、皆様の期待にお応えできるよう「前進」し、訓練職務に励む所存であります。

防衛省・自衛隊は、我が国の安全保障情勢が一層厳しさを増す状況においても、各種事態に持続的に対応できる態勢を確保するために、「隊員が心身ともに健全な状態で高い士気を保って、個々の能力を十分に発揮し得るような環境を整えることが必要である」との考えから、仕事と生活の調和、いわゆるワークライフバランスに関する取り組みや働き方改革を進めるとともに、女性隊員の活躍推進にも積極的に取り組んでおり、その数も増加しつつあります。水陸機動団は女性隊員がますます活躍でき、かつ全ての隊員が家族との時間を大切にしつつ、個々の能力を十分に発揮できるようにワークライフバランスの確保に努めてまいります。今後とも我々の各種の取り組みへのご理解、ご協力をお願いいたします。

明けましておめでとうございます。佐世保自衛隊後援会の皆様には、令和3年の心穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆様には平素より陸上自衛隊水陸機動団及び相浦駐屯地に対する格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年、水陸機動団創設3年目、相浦駐屯地創立65周年を迎える節目の年でありました。水陸機動団は「予想される任務を確実に達成できる」ような様々な訓練等を通じ厳しく困難な状況下でも任務遂行可能な部隊及び隊員を育成するとともに、相浦駐屯地としては佐世

保・相浦地域との繋がりを大事にして皆様のご期待にお応えできるように職務に邁進してまいりました。また新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、その影響により国内・外における一部の訓練・各種行事も延期され、今までは違っていた状況にあっても、我々は「新しい生活様式」を実践しつつ訓練参加者の体調管理はもちろん、訓練を実施する自治体の状況や施策を確認するとともに、共同する部隊等についても対策の現状を確実に把握する等、感染症対策を万全にして水陸両用戦能力向上のため全隊員が一丸となり訓練してまいりました。

防衛省・自衛隊は、我が国の安全保障情勢が一層厳しさを増す状況においても、各種事態に持続的に対応できる態勢を確保するために、「隊員が心身ともに健全な状態で高い士気を保って、個々の能力を十分に発揮し得るような環境を整えることが必要である」との考えから、仕事と生活の調和、いわゆるワークライフバランスに関する取り組みや働き方改革を進めるとともに、女性隊員の活躍推進にも積極的に取り組んでおり、その数も増加しつつあります。水陸機動団は女性隊員がますます活躍でき、かつ全ての隊員が家族との時間を大切にしつつ、個々の能力を十分に発揮できるようにワークライフバランスの確保に努めてまいります。今後とも我々の各種の取り組みへのご理解、ご協力をお願いいたします。

佐世保商工会議所では退職予定自衛官の地元企業への再就職を支援しています

## 即戦力となる人材の確保を検討している経営者の皆様へ 退職自衛官再雇用のご案内

自衛隊では、精強性を維持するため、**若年定年制(53~56歳)**、**任期制<sup>1</sup>(主に20歳代)**という制度を採用されています。退職予定の自衛官は、在任中に多くの資格、免許を取得、また企業の即戦力となるべく様々な再教育を受けた後に退職されます。企業皆様におかれましては、退職自衛官の再雇用については是非ご検討くださいますようお願い致します。

《若年定年制自衛官の定年退職年齢(2020年1月~)》

幹部				准尉	曹	
1佐	2佐	3佐	1・2・3佐		曹長・1曹	1・2曹
56歳			55歳 <sup>2</sup>			53歳 <sup>3</sup>

<sup>1</sup> 任期制自衛官=主に高校、大学等を卒業後、2~7年間ほど自衛隊に勤務した主に20歳代の若手人材。  
<sup>2</sup> 2021年1月から1佐については457歳、2佐・3佐については56歳に変更されます。  
<sup>3</sup> 2022年1月から2曹・3曹は54歳に変更されます。

《退職自衛官再雇用 問合せ窓口》

(一財)自衛隊援護協会 福岡支部退職自衛官 福岡無料職業紹介所  
 〒812-0027 福岡市博多区下川端1-3 明治通りビジネススクール(別館) TEL.092(271)2462

長崎地方協力本部 援護課  
 〒857-8567 佐世保市平瀬町18番地 TEL.0956(23)9039

長崎地方協力本部 援護課  
 〒850-0862 長崎市出島町2-25 防衛省合同庁舎 TEL.095(826)8844~6

長崎地方協力本部 佐世保援護センター  
 〒858-8555 佐世保市大湯町678 TEL.0956(47)2166 (内)2366-2367



水陸機動団

最後になりますが、本年も水陸機動団及び相浦駐屯地・崎辺分屯地に対するより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして輝かしくも素晴らしい希望に満ち溢れた一年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。












































# 防衛記念章



ご存知ですか？

自衛官の胸に付いている記章ですが、ほうえいきねんしょう防衛記念章と言います。防衛記念章とは、自衛官がその経歴を記念して制服に着用することができる記章です。

「1号」から「41号」まであり、職務遂行や災害派遣などの功績に応じて付与されます。

<p>第1号 特別賞詞</p> 	<p>第2号 第1級賞詞</p> 	<p>第3号 第2級賞詞</p> 	<p>第4号 第3級賞詞</p> 	<p>第5号 第3級賞詞</p>  <p>・無事故飛行5000時間 ・車両操縦無事故15万km</p>
<p>第6号 第3級賞詞</p>  <p>発明考案、業務改善</p>	<p>第7号 第3級賞詞</p>  <p>訓練、演習</p>	<p>第8号 第4級賞詞</p>  <p>自衛隊の行動</p>	<p>第9号 第4級賞詞</p>  <p>・無事故飛行3000時間 ・車両操縦無事故10万km</p>	<p>第10号 第4級賞詞</p>  <p>発明考案、業務改善</p>
<p>第11号 第4級賞詞</p>  <p>訓練、演習</p>	<p>第12号 第5級賞詞</p>  <p>自衛隊の行動</p>	<p>第13号 第5級賞詞</p>  <p>・無事故飛行1500時間 ・車両操縦無事故2万km</p>	<p>第14号 第5級賞詞</p>  <p>発明、考案</p>	<p>第15号 第5級賞詞</p>  <p>訓練、演習</p>
<p>第16号</p>  <p>安全防災功労</p>	<p>第17号</p>  <p>特別賞状に関わる業務</p>	<p>第18号</p>  <p>1級賞状に関わる業務</p>	<p>第19号</p>  <p>部隊等の長(将)</p>	<p>第20号</p>  <p>部隊等の長(将補)</p>
<p>第21号</p>  <p>部隊等の長(1佐)</p>	<p>第22号</p>  <p>部隊等の長(2・3佐)</p>	<p>第23号</p>  <p>部隊等の長(尉)</p>	<p>第24号</p>  <p>内局勤務</p>	<p>第25号</p>  <p>統幕勤務</p>
<p>第26号</p>  <p>幕僚監部勤務</p>	<p>第27号</p>  <p>統幕事務局勤務</p>	<p>第28号</p>  <p>情報本部勤務</p>	<p>第29号</p>  <p>技術研究本部勤務</p>	<p>第30号</p>  <p>装備施設本部勤務</p>
<p>第31号</p>  <p>防衛監察本部勤務</p>	<p>第32号</p>  <p>25年勤務</p>	<p>第33号</p>  <p>10年勤務</p>	<p>第34号</p>  <p>外国勤務経験</p>	<p>第35号</p>  <p>海賊対策処行動従事</p>
<p>第36号</p>  <p>大規模災害派遣従事</p>	<p>第37号</p>  <p>国際貢献従事</p>	<p>第38号</p>  <p>インド洋派遣従事</p>	<p>第39号</p>  <p>イラク支援活動従事</p>	<p>第40号</p>  <p>国家行事業務従事</p>
<p>第41号</p> 	<p>複数受賞 2個</p> 	<p>複数受賞 3個</p> 	<p>複数受賞 4個</p> 	<p>複数受賞 5個以上</p> 